

子宮頸がん予防に関するQ&A

Q. 子宮頸がんとは、どんな病気ですか？

A. 子宮頸がんは、子宮の入り口の部分に発生するがんで、その原因は「発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）」の感染だといわれています。発がん性HPVは、主に性交渉により感染しますが、特別な人だけが感染するのではなく、誰でも感染するありふれたウイルスです。ただし、感染したからといって必ずがんになるわけではなく、ほとんどの場合は自然に排除されます。排除されなかったごく一部が長時間をかけて「前がん病変」となり、がんに進行します。

近年、日本では、20～30代の若い女性の発症率が増加傾向にあります。

Q. HPVとは、どんなウイルスですか？

A. ヒトパピローマウイルス（HPV）は、皮膚や粘膜に感染するウイルスで、100種類以上のタイプがあります。このうちの約15種類は子宮頸がんの原因となることが多いため、発がん性HPVと呼ばれています。この発がん性HPVの中でも、16型と18型と呼ばれる2種類は、子宮頸がんを発症している患者さんからの検出率が高くなっています。

Q. ワクチンを接種すれば、子宮頸がんを予防できますか？

A. 子宮頸がん予防ワクチンは、発がん性HPVのうち、高リスク型のHPV感染を防ぐワクチンで、その他の発がん性HPVの感染を防ぐことはできません。また、すでに感染しているウイルスをなくしたり、がんになることを遅らせたり、子宮頸がんを治したりすることはできません。

Q. どうすれば、子宮頸がんを予防できますか？

A. 確実に子宮頸がんを防ぐためには、ワクチンで防ぎきれない病変を早くみつけて治療することが大変重要です。そのためには、子宮がん検診が必要です。子宮頸がんは、がんになるまでに長い時間がかかるため、早くみつければ、がんになる前に治すことができます。ワクチンを接種した方でも定期的に検診を受け、子宮頸がんからより確実にあなたの体を守りましょう。

Q. 加古川市の子宮がん検診について教えてください。

A. 加古川市では、18歳以上の方を対象に、加古川総合保健センターと指定医療機関で子宮がん検診を実施しています。実施期間は4月1日から2月末日まで、子宮頸がん検診費用は1,200円～1,500円（65歳以上は無料）です。また、特定年齢の方（4月1日時点で20歳・25歳・30歳・35歳・40歳の方）を対象に無料クーポン券を送付いたします。詳細については、市のホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

※毎年、5月号の広報紙と一緒に「健診カレンダー」を配付しています。